

令和2年度 指定障害福祉サービス事業所マザーグースの家 事業報告

1 定員、実利用者数(令和3年 3月現在)

事業種別	定員	契約者数	実利用者数
生活介護	40人	41人	41人

2名が入所施設へ、1名が入所施設がある通所施設へ行くため退所している。

2 生活支援員の配置状況

利用者3名に対し1名の支援員の職員体制を組んでいる。

3 延べ利用者数

	R2 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3 1	2	3	合計 平均
延べ利用者数(人)	897	903	878	889	895	852	899	845	761	846	751	877	10,293
平均利用率(実利用者/定数)	101.9%	98.2%	99.8%	96.6%	97.3%	96.8%	97.7%	96.0%	95.1%	91.9%	93.9%	95.3%	96.71%
前年度延べ利用者数(人)	893	907	890	912	886	868	867	844	885	785	805	914	10,456
前年度平均利用率(実利用者/定数)	101.5%	98.6%	101.1%	99.1%	97.0%	99.0%	94.2%	96.0%	96.2%	93.5%	93.5%	100.0%	97.48%

4 障がい支援区分

	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
令和3年3月末現在	1	6	19	15	41
前年度3月末現在	1	6	20	16	43
比較	0	0	-1	-1	-2

5 職員の勤務年数

	2年未満	2～5年	5～7年	7～9年	9～14年	14年～20年
施設長						1
サービス管理責任者				1		
生活支援員	7	3	2(1)	1	2	
事務員			1			
看護師		2		1		
管理栄養士	1					
その他(運転手・調理)	6	2	2			

6 事故報告書

	転倒	服薬ミス	施設外外出	他害	異食	床に落ちたものを食べる	歯ブラシ間違い
R2.4～R3.3	7	4	1	2	1	4	1

7 ヒヤリハット報告

	薬を落とす	他害	異物混入	車道を歩く	異食	携帯忘れ	ソファー破損
R2.4～R3.3	2	1	2	1	1	1	1

8 苦情解決・虐待・身体拘束の報告

令和2年4月、5月、8月に安全虐待防止委員会による会議を実施。

身体拘束等の行動制限はなし。

苦情・・・2件

- ①気温に合わせた衣類調整をしてほしい
- ②送迎車両からの安全な乗降をしてほしい

・・・いずれも改善に向けて会議を行い改善している

9 行事

5月	スタンプラリー
	ハンドマッサージ
6月	マザーズカフェ
	地域限定(板野郡在住者)パソコン講座
7月	ミニ運動会
8月	エナジー展作品作り
	ミニ夏祭り
9月	レクリエーション
10月	映画鑑賞会
11月	マザーグーススポーツフェスティバル
12月	1年間おつかれさま会
1月	園内初詣
2月	バレンタイン
3月	成人式
サークル活動	3B体操(6月のみ)、散髪(6月のみ)

10 保健

ご利用者が施設に到着後毎日、検温・血圧測定を実施し、体調確認の後でサービス提供している
年2回のご利用者、職員の健康診断を実施
新型コロナウイルス感染症対応マニュアル、BCPの作成
感染症対策委員会の開催

11 防災

避難訓練、水害を想定した避難訓練を年1回ずつ実施
すだちくんメールで職員間やご利用者家族と、安否確認の伝達訓練を実施

12 食事

自前厨房での利用者個々に応じた食事の提供の実施
管理栄養士を採用し、ご利用者の年齢や障がい特性に応じた食事提供を行っている。
新型コロナウイルス感染症対策で、一度に食べる食事の人数を少なくするため食事時間を
ずらしての提供や壁向きの食事、職員の使い捨てエプロンやフェイスガードの着用など感染
対策も行っている。

13 研修

内部研修	弁護士によるコンプライアンス研修		
	看護師による口腔内研修	サポーターズカレッジによるWEB研修	
	サポーターズカレッジによるネット研修(講義及びネット会議にも参加)		
外部研修	自閉症カンファレンス日本(WEB)	事務職員研修(WEB)	施設長会(WEB)
	新型コロナウイルス対策経営セミナー(WEB)	社会福祉施設経営実務セミナー(WEB)	管理職研修(WEB)
	チームリーダー研修(WEB)	職場内研修担当者養成研修(WEB)	出前講座実行委員会(WEB)
	記録の書き方研修(WEB)	職場のハラスメント対策シンポジウム(WEB)	総務部会(WEB)
	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	徳島県社会福祉法人会計セミナー(WEB)	生活支援部会(WEB)
	強度行動障害支援者養成研修(実践)	安全運転管理者講習	日中活動支援部会(WEB)
	障害者施設職員研修会(WEB)	集団給食施設協議会研修会(WEB)	福祉協会理事会(WEB)
	対人援助職のためのコミュニケーション研修(上級)	福祉職場での人事・労務管理ステップアップ研修会(WEB)	
	要介護者の誤嚥性肺炎の予防のための口腔ケアと食支援のポイント(WEB)		
	第2回新型コロナウイルス感染症に対応する障害者施設職員の相談支援のための研修会(WEB)		
新型コロナウイルスの現状と対応 医療との連携について			

14 事業の重点に対する報告

(1) 日常活動支援の充実

新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、マザーグースの家では室内の作業スペースが対面にならないよう、食事場面で対面にならないよう、多くの人が密にならないよう対策してきた。

ご利用者も、障がい特性がある中で家庭のご協力もありマスクの着用率も上がってきた。

それでも、マスクの着用が難しい方への配慮を十分に行いながら日中活動を行ってきた。

1年間を通して、新型コロナウイルス感染症に罹患しなかったことは、送迎のご協力や家庭での感染対策を継続していただいたご家族の力も大きい。

(2)ご家族との連携強化

緊急事態宣言下では、送迎車両内で密状態を防ぐことからご家庭からの送迎のお願いを実施した。ご家族もお仕事がある中、出来る範囲で協力いただいた。対面の家族会が出来ない分、書面での家族会を実施し、ご家族からの質問には丁寧にお答えをしてきた。

施設に足を運んでもらえないからこそ、施設内の状況を情報提供するため、スマートフォンアプリの「LINE WORKS」を使用し、動画や写真、文字でリアルタイムにご利用者の情報を提供するようにした。令和2年度は実験的導入であったが、令和3年度はより多くのご家族に加入していただき相互の情報交流を密に行えるようにしたい。

(3)働きがいのある組織作りと人材育成

働きがいのある職場づくりを目指して職場内の風通しを良くするため、全職員に声をかけそれぞれの悩み、相談にもり、職員一人一人を大切に育てた1年であった。

そして、この施設での取り組みを高等学校にお伝えしたことで、共感いただき県立高校の学生1名の内定にこぎつけた。学校との関係作りはこれで終わりではなく、将来のルミエールの発展のため「若い力」を育てていく必要がある。そのためにも良い職場環境、働きがいのある職場づくりに今後も取り組んでいきたい。

15 来年度への展望

新型コロナウイルス感染症への感染対策がまだまだ続く1年になる。職員が感染対策に対して燃え尽きないよう配慮していきたい。県のチェックリストに則り感染対策を行いつつも、ご利用者が楽しんでもらえるような「新しい形の行事」を作っていくことに職員が一丸となって取り組むことでストレス解消にも繋がっていけばと思う。

ご利用者の「笑顔」あふれるサービス提供を行って行きたい。

令和2年度相談支援事業報告書

板野郡委託契約相談支援件数…690件 相談方法、対応は以下の図のとおり。

図1		相談者				
		本人	家族	関係機関	その他	計
年度月別	4月	18	21	21		60
	5月	20	6	29		55
	6月	23	16	22		61
	7月	17	9	32		58
	8月	24	9	24		57
	9月	31	9	35		75
	10月	18	10	22		50
	11月	19	8	20		47
	12月	21	14	29		64
	1月	13	7	32		52
	2月	14	13	18		45
	3月	24	10	32		66
	計	242	132	316		690
図2		本人	家族	関係機関	その他	計
相談方法	訪問	97	33	15		145
	来所	23	7	9		39
	同行	11				11
	電話	49	85	280		414
	メール	51	6			57
	個別会議	11	1	12		24
	関係機関					
	その他					
	計	242	132	316		690
図3		本人	家族	関係機関	その他	計
時間帯	06:00～07:59					
	08:00～17:59	236	131	313		680
	18:00～05:59	6	1	3		10
	計	242	132	316		690
図4		本人	家族	関係機関	その他	計
相談内容	福祉利用	100	91	220		411
	障害理解					
	健康医療	21	2	20		43
	不安解消	99	31	38		168
	保育教育		1	5		6
	家族人間	1		15		16
	家計経済	5	1	7		13
	生活技術	15	6	9		30
	就労支援					
	社会参加					
	権利擁護	1		1		2
	その他			1		1
	計	242	132	316		690

指定特定相談支援計画作成 障がい者…52件 障がい児…19件

指定特定相談支援モニタリング 障がい者…57件 障がい児…0件

指定一般相談支援事業地域相談支援 障がい者…0件

課題

相談支援事業では板野郡5町と委託契約を結び、地域の事情や状況に合わせて障がい者（児）またそのご家族と直接関わり、相談を重ねながら各関係機関と連携して各福祉サービス利用へと繋げている。ご利用者の生活上の多様なニーズをどのように把握し、ご利用者の在宅生活をサポートしていくためにできるだけわかりやすく示していくことを心がけている。

児童期から関わってきた障がい児が18歳に到達し、児童福祉法による障がい児支援給付から障害者総合支援法による障がい福祉サービスへの自立支援給付への切り替えに伴う対応が多くあり、過渡期を迎えた児童、その保護者が混乱することのないよう対応を重ねている。

新型コロナウイルス感染症の影響も出てきており、コロナ禍で面談調整が整わず、ご利用者との面談の機会も減り、自立支援協議会、情報収集や自己研鑽のための研修も中止が続いていたが、参加方法がWeb会議などに変化してきており、積極的に面談や受講を実施している。

今後、生活困窮、失業、生活リズムの乱れによる不登校、自殺企図など、障がいのあるご利用者への生活に影響が出るとされる課題が発生してくるとされる。各関係機関と連携し、一緒に支えるようなつながりを作っていく。

令和2年度 指定放課後等デイサービス事業所マザーグース7 事業報告

1 定員、実利用者数(直近月:令和3年 3月)

事業種別	定員	契約者数	実利用者数
放課後等デイサービス	10人	10人	8人

2 延べ利用者数

	R2 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3 1	2	3	合計 平均
延べ利用者数(人)	137	118	129	122	108	124	163	125	136	109	105	128	1,504
平均利用率	54.8%	51.3%	49.6%	48.8%	51.4%	51.6%	60.3%	54.3%	54.4%	47.3%	45.6%	49.2%	51.6%
前年度延べ利用者数(人)	167	146	144	146	136	124	125	121	116	139	127	113	1,604
前年度平均利用率	66.0%	63.0%	57.0%	56.0%	59.0%	53.0%	54.0%	50.0%	48.0%	60.0%	53.0%	47.0%	55.5%

3 職員の勤務年数

	2年未満	2～5年	5～7年	7～9年	9～14年	14年～20年
所長兼児童発達支援サービス管理責任者				1		
児童指導員	3	1				
運転手	1					

4 事故報告 事故なし

5 ヒヤリハット報告

	飛沫防止パネルの破損	転倒
R2.4～R3.3	2	1

6 虐待・身体拘束報告・苦情解決報告 事例なし

7 行事

板野支援学校の運動場で運動、買い物体験、おやつ作り、お楽しみ会
クリスマス会、カレンダーづくり、初詣、書初め、オンラインスポーツなど

8 防災

火災、水害、地震を想定避難訓練を各1回ずつ実施している。

9 研修

内部研修	サポーターズカレッジによるインターネット研修 強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修)
外部研修	放課後等児童クラブにおける気になる子どもの理解と支援 特別支援に役立つ子どもの行動の見方・捉え方

10 事業の重点に対する報告

1 生活能力の向上のために必要な支援を行う。

高等部3年生が4名おり、卒業を前に将来を見据えた基本的な生活習慣の獲得やマナー等の部分を支援してきた。また、マスクの着用についても小学部の低学年の児童でも日常生活の一つとして身につくよう支援してきた結果、徐々に着用率も上がっている。

2 情緒面・身体的成長に合わせた適切な指導の実施。

春先の臨時休校などで情緒を乱したり、昼夜逆転する児童が多くみられ欠席につながった。そのため、ご家庭と協力し日中の活動などを工夫し夜間に眠れるよう生活リズムの修正を行った。「学校の臨時休業や短縮授業への対応」もご家庭からは「とてもありがたい」との評価をいただいている。

3 社会との交流を図る。

毎年行っていた親子研修や地域での健康研修会などは新柄コロナウイルス感染症の影響で中止とした。

就労支援事業所への将来を見据えた社会科見学も難しい状況であった。

11 来年度への展望

新たに支援学校小学部に入学される児童が新規に利用を開始される予定であり、既存のご利用者の「お兄さん」「お姉さん」としての成長もあわせて見ていきたい。

重度な児童の方々を受け入れる放課後等デイサービスとして選ばれる施設になるよう、今後もお一人お一人丁寧に対応していきたい。

令和2年度 マザーグースの家 日中一時支援事業 事業報告

1 定員

事業種別	定員
日中一時支援事業	10人

2 延べ利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ利用者数(人)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
昨年度比延べ利用者数(人)	-2	0	-1	-7	-3	-2	-6	0	0	0	0	0	-21

3 1年の報告

新型コロナウイルス感染症の影響で、利用希望者がほぼいない状態であった。

今後も、地域の社会資源としての日中一時事業であり続けたい。

令和2年度
マザーグースの家 日中一時支援事業 事業報告

1 定員

事業種別	定員
日中一時支援事業	10人

2 延べ利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ利用者数(人)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
昨年度比延べ利用者数(人)	-2	0	-1	-7	-3	-2	-6	0	0	0	0	0	-21

3 1年の報告

コロナの影響で、利用希望者がほぼいない状態であった。

今後も、地域の社会資源としての日中一時事業であり続けたい。